

# 御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

# 定例会 ニュース

(2022年7月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. **73**

## 1. 関西の成長戦略とアートについて ~ 大阪・関西万博を契機に ~

大阪・関西万博が開催される2025年、「大阪関西国際芸術祭」が新たに誕生します。この国際芸術祭は、大阪・関西にとって大きなインパクトとなることが期待されています。関西における成長戦略とアートについて、株式会社アートローグの代表取締役 CEO、「Study：大阪関西国際芸術祭」の総合プロデューサーでもある鈴木氏にご講演いただきました。定例会ニュースでは、ご講演内容から一部をご紹介します。

### アートによる経済効果、世界から取り残される日本・大阪

- 世界の美術品市場は約5兆2,000億円、日本はわずか3.7%、約1,929億円。国際芸術祭の総事業費では、ドイツドクメンタが2017年データで約40億円。日本では、あいちトリエンナーレ2019や瀬戸内国際芸術祭2016の総事業費が約12億円。
- 世界やアジアから取り残される日本の中で、さらに取り残される大阪。日本のアートシーンは東京一極集中。大阪の美術館数は全国最下位(人口10万人あたり)。

### アートによる都市ブランド力の向上

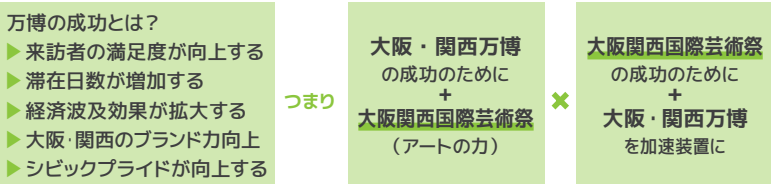
- リンツ(工業都市▶未来志向のクリエイティブ都市)
  - ・汚染問題が深刻な工業地帯で、文化的なイメージがない都市であった。
  - ・1979年からアートフェスティバルを開催。現在は、企業等との共創プロジェクト等を展開。「未来志向のクリエイティブ都市」「地域再生の成功事例」として認知されている。
- ビルバオ(失業率25%の鉄鋼・造船の街▶美術館建設で観光客20倍に)
  - ・1980年代、鉄鋼と造船業が衰退の一途となり、失業率25%の荒れた街に。
  - ・1997年、ビルバオ・グッゲンハイム美術館がオープン。最初の3年で400万人が訪れ、観光客は美術館建設前の20倍に。5,000人以上の雇用を創出、建設投資額は3年で回収。



▲「Study：大阪関西国際芸術祭2022」グランフロント大阪北館ナレッジプラザ展示風景(出典：株式会社アートローグHP)

### 関西の成長戦略として、万博を機に世界最大規模の芸術祭「大阪関西国際芸術祭」を開催、芸術祭を万博のレガシーに

大阪・関西万博成功のために、アートの力を。アートの力を最大限にするために万博を。



政治、経済も、アートによる成長戦略に期待

- ▶ アート振興を推進していく。(岸田総理 2022.1.19 衆議院本会議)
- ▶ アートには都市の「成長」にもつながる可能性がある。アートを大阪の成長に結び付けていく。(山口信彦副知事 2022.6.2 府議会本会議)
- ▶ 関西経済連合会で講演会を開催(「関西成長戦略としてのアート、万博を期に世界最大規模の大阪関西国際芸術祭」開催に向けて 2022.6.27 アートローグ鈴木氏講演)

## 2. 大阪・関西万博に向けて

大阪・関西万博に向けて、万博会場と御堂筋をどのように連携させるかが様々なところで検討されており、8月24日には「大阪・関西万博に向けた御堂筋の取組み意見交換会」が開催されることになりました。大阪市建設局によって開催される当意見交換会では、御堂筋における道路協力団体3団体が、万博に向けた取り組みについて発表します。当会としては、会員各位やコンテンツマネージャーの真鍋氏と議論を重ねて具体的なアクションを詰めていく予定です。



**意見**

- 万博会場となる夢洲で木造モジュールを建てている。再利用できるようなものを、という動きがある。ポップアップショップもレンタル商材を活用していただけたらと思う。(西尾レントオール 小林氏)
- 当会は地権者の会であるが、どれだけ新規事業を自分たちで手掛けるかによって異なってくると考えている。開催期間、万博会場からミナミへのモビリティに補助金が出るとか、そういった情報はありますか？(大日本印刷 杉山氏)
- シャトルバスが発着するとは聞いている。万博に関する情報交換をしっかりとしていきたい。(事務局)

### 3. 社会実験「御堂筋チャレンジ2022」

今年秋に実施予定の、社会実験「御堂筋チャレンジ 2022」について事務局より説明しました。御堂筋チャレンジ 2022では、2期整備区間の道路空間再編工事完成や、3期整備区間で市が実施する、側道閉鎖による交通環境影響調査等の検証に合わせ、官民連携による御堂筋の沿道検証および利活用事業に取り組みます。利活用事業では、会員企業と連動したものを実施予定です。今後募集を開始していくスポンサーについても、協力を依頼しました。

#### 交通検証等に伴う空間利活用社会実験 御堂筋チャレンジ 2022 実施概要 (検討中)

■実施時期：2022年10月15日(土)～11月13日(日)予定 ■実施場所：御堂筋・新橋交差点～難波西口交差点の沿道(約450m)  
■実施主体：NPO法人御堂筋・長堀 21世紀の会 / 一般社団法人ミナミ御堂筋の会 (大阪市指定・道路協力団体) / 大阪市建設局



#### 【3期整備区間】 今後の整備へ影響検証 + 道路協力団体による利活用の検証

▶今年10月の側道閉鎖に伴う交通環境の影響検証等とあわせて道路協力団体として将来の利活用の検証を官民連携で行い、今後の整備や利活用のあり方へ反映する。



▲イメージ

#### 【2期整備区間以南】 2021の社会実験を踏まえたベンチ等の検証と、御堂筋等と連動した回遊性創出等への検証

▶2021の成果を踏まえ、道路空間再編工事完成とともにベンチ等の検証を行い、継続した管理運営方策へつなげる。  
▶過去の社会実験の成果を踏まえ、御堂筋・広場とも連携した東西方向への回遊の創出や放置自転車対策などを、地域と連携して実施し、その効果をデータ取得等を通じて整備後の効果を検証する。

▼イメージ



### 4. その他協議・報告事項

#### (1) 2期整備区間沿道の集まり

2期整備区間においては、沿道の会員より「2期整備区間完成を機に、沿道の維持管理、美しい道づくりを考え、活動したい」との提案があったことから、6/27に当該沿道の会員で集まり、今後のアクションについて意見を交わしました。

- 当区間は、看板・ゴミ・自転車が課題。最低限守るべきことをルール化して、周知できるよう沿道ルール案を作成する。
- 昨年の社会実験ではベンチを設置した。今年の社会実験でもベンチ設置が行われる予定なので、具体化に向けて協力する。
- より歩きやすく、より良い環境に向けて連携するべく、8月2日に、周辺の商店街を含めて意見交換を行う。

#### (2) 西新宿のエリマネ団体による視察

6月21日、西新宿(都庁周辺)のエリアマネジメント団体である新宿副都心エリア環境改善委員会様が、視察に來られ、御堂筋、なんば駅前広場等を見学されました。御堂筋の歩行者空間化や、社会実験等の当会の活動、ほこみち制度の活用などについてご紹介しました。



▲ 7/25 定例会の様子

#### (3) 各種会議の開催

- 御堂筋パークストリート推進会議  
御堂筋沿道3団体+ミナミまち育てネットワーク様の計4団体で万博に向けた取り組み、社会実験について意見交換予定。
- 大阪エリアマネジメント活性化会議  
大阪市内のエリアマネジメント団体による会議。この会議でも万博での取り組みについて議論しており、大阪府・市の万博推進局による勉強会も実施される予定。

定例会 参加者	【正会員】	奥村((株)泉屋商店)、高橋・福崎((株)スポーツタカハシ)、藤本((株)播重)、都((株)理想実業)、富永((株)三信)、奥谷((株)三栄建設)、吉田((株)ベルコ)
	【賛助会員】	武村(コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、津田・藤田(松竹(株))、杉山(大日本印刷(株))、戸高((株)大丸松坂屋百貨店)、安田(東京建物(株))、島田(東京建物不動産販売(株))、小林(西尾レントオール(株))、合志・長谷(野村証券(株))
	【オブザーバー】	鈴木((株)アートローグ)
	【事務局】	絹原・竹林((株)地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ **2022年8月29日(月) 16:00～** (難波御堂筋ホール予定)